

新基本構想・基本計画策定「市民会議」第8回リーダー会議兼第3回起草委員会議事録

日時：平成23年9月25日（日）10時～12時30分

場所：大横保健福祉センター 3階会議室

参加者：岡崎、篠原、加藤、岡田、中瀬、新倉、野崎、土肥、野牧、八木、関谷

欠席者：倉田

傍聴者：2名

事務局：小島、伊藤、内田、設樂、和智、中山、羽生

富士通総研：長谷川

配付資料：

資料1：共通分野の調整結果一覧

資料2：都市像名称と施策提言シート関連表

その他：資料4改：各分科会における主な計画全体に関わる部分の検討結果（9月11日の第7回リーダー会議兼第2回起草委員会後、追加修正版）

教育・学習分科会野牧リーダーによる総論たたき台

各分科会からの総論文案（事前提出）

施策提言シート（案）/提言件名「市民会議によるフォローアップ」

各分科会の各論検討資料

1. 開会・資料確認

- ・ 総論は10月16日（日）の第5回起草委員会で文案を確定し、その後、各分科会に示していくことを確認した。
- ・ 事務局から、本日の会議の中で、総論の構成を決定してほしい旨の依頼があり、確認した。

2. 第7回リーダー会議兼第2回起草委員会決定事項等の確認

- ・ 事務局から、第7回リーダー会議兼第2回起草委員会の決定事項等を報告し確認した。

3. 複数の分科会にまたがる共通分野の調整結果について

- ・ 事務局から資料1に基づき、各分科会間で調整が完了した旨の報告があった。また、「共通項目を記載」あるいは「共通する事項を違う視点から記載」したシートが20あった旨の報告があり、調整の結果について、意見等があれば、各分科会の事務局と調整することを確認した。
- ・ 10月10日に各分科会から事務局へ提出する施策提言シートは、資料1に基づく調整結果を反映させることを確認した。

4. 市民意見及び市議会との意見交換会による意見等の取扱いについて

- ・ 事務局から、市民意見及び市議会との意見交換会による意見については、反映又は反映しない等の検討を10月10日のシート完成までに行ってもらいたい旨の依頼があり、確認した。
- ・ 市民意見については、事務局がその分科会に該当すると思われる意見等を割り振った資料を配付済みだが、全体を見て、他の分科会に割り振られた意見であっても、自分たちの分科会で検討す

べきものがあれば、その内容もシートに反映してもらいたい旨の依頼があり、確認した。

- ・ 事務局から、市民意見について、一つの意見を複数の分科会に割り振っているが、意見反映に当たって、分科会同士の調整が必要になった場合には、10月10日以降に調整を依頼することがあるので、その際には対応願いたい旨の依頼があり、確認した。

5. 都市像の決定について

- ・ 「都市像」という表現については、以下の5案を参考に10月9日に決定することを確認した。
 - ・ 「私(わたし)たち(達)が目指(めざ)すまち」
 - ・ 「目指(めざ)すまちの姿(すがた)」
 - ・ 「目指(めざ)すまち」
 - ・ 「目指(めざ)す都市像」
 - ・ 「望(のぞ)まれるまちの姿(すがた)」
- ・ 各分科会から、決定された「(仮称)都市像」の報告があった。
 - <みんなで担う公共と協働分科会> みんなで担う公共と協働のまち
 - <環境分科会> 一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち
 - <生活・共助分科会> 健康で笑顔あふれる、ふれ愛・支え愛のまち
 - <産業分科会> 魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち
 - <教育・学習分科会> 学び合い、豊かな心と文化を創るまち
 - <まちづくり分科会> 地域の特性を活かした安心・快適なまち

6. 総論、参考の検討・作成について

総論

- ・ 事務局から前回の振り返りとして、文案の内容の検討に先立ち、以下の点について再確認する説明がされ、その内容を確認した。
 - ・ 「3.重視したこと」には、「1.まちづくりの基本理念」の「根拠」となる、いわば、「基本理念の背景(バックグラウンド)」を記載することで、なぜ、この理念となったのかが読み手にとって理解しやすくなる。つまり、「1.まちづくりの基本理念」と「3.重視したこと」は、文章の構成として「因果関係」にあり、「3.重視したこと」=「因」(原因<根拠>)であり、「1.まちづくりの基本理念」=「果」(結果)となっていることがわかりやすい文章構成ではないかという点
 - ・ 総論の作成に当たっては、資料4改を基に文章を作成していくという点
- ・ 構成について、多くの市民にとって「読みやすく、分かりやすい」という視点を重視し、総論の構成は、見開きの左ページに「1.まちづくりの基本理念」「2.(仮称)都市像」、右ページに「3.重視したこと」とすることを決定した。
- ・ 本日の議論を受け、前回同様、各分科会のリーダー、サブリーダーで検討し、文案を10月2日(日)24時までに、リーダーから全委員と事務局に送付する。その後、野牧リーダー取りまとめの文案を10月6日(木)までに全員と事務局に送付し、次回10月9日の第4回起草委員会で検討するとの提案がなされ、決定された。なお、「3.重視したこと」については、今回の野牧リーダーの文案を基本としなくても構わず、また、分量についても、取りまとめ時に野牧リーダーが調整するため、制限を設けないことを確認した。

参考

- ・ 教育・学習分科会野牧リーダーから、前回事務局から提示された構成案で良いのではないかとの提案があり、確認した。
- ・ 参考の文案作成を以下の割り振りで行うことを決定した。これらのうち、
は10月16日の第5回起草委員会で各自が持ち寄ることを確認した。
 - 「中間まとめ」に寄せられた市民意見とその検討 / 野牧委員と事務局間で対応を調整
 - 市民会議全体の経緯 / まちづくり分科会（関谷リーダー）
 - 市民会議の構成 / 生活・共助分科会（中瀬リーダー）
 - 市民委員の名簿 / 事務局が資料を提示後、起草委員会の中で調整
 - あとがき / 各分科会で文案を作成。ただし、施策提言シート No80「市民会議」によるフォローアップに関する文章については、みんなで担う公共と協働分科会（岡崎リーダー）が作成。

7. 次回開催日時の確認

- ・ 第4回起草委員会：平成23年10月9日（日）13：30～15：30

8. その他

- ・ みんなで担う公共と協働分科会岡崎リーダーから、施策提言シート No80「新しい公共と「市民会議」によるフォローアップ」について、以下の3点の報告があった。
 - ・ 提言件名について、「新しい公共」を削除し、「市民会議」による新基本構想・基本計画のフォローアップ」としたい点
 - ・ 具体的な提案事項の2～4は、一連の内容であるので統合した方が良いと考える点
 - ・ 具体的な提案の1について、「参加度」とは素案から新プランの設立にいたる過程での関与度のアップのことであるが、今の市民会議の参加度のアップと誤解されることがあるため、表現を訂正したい点
- ・ 以上の報告を受け、提言件名について、一旦市民会議は解散することから、「市民会議」という組織に限定しない方が良い。そのため、「市民会議」は「市民」にしたほうが良いという提案があった。また、そのことに連動して、他の部分についても「市民会議委員」という表現は、具体的提案1を除いて「市民」に変更した方が良いとの提案があった。
- ・ なお、施策提言シート No80 については必要に応じて報告してもらうことを確認した。

以上